



仲間の声援を受けながら集中して球を投じる選手

町民総体中期競技 地域の親睦深まる

第40回町民総合体育大会中期競技は10月6日、総合運動公園多目的グラウンドで開催され、各体育振興会から約180人が参加しました。参加者らは和気あいあいと親睦を深めながら、各競技を楽しんでいました。

結果はグラウンド・ゴルフ競技では江刈A地区体育振興会、ペタンク競技では北部地区体育振興会が優勝を飾りました。優勝した北部地区体育振興会の丹内英陽さん（葛巻小6年）は「初めてペタンクをやった。仲間と協力して優勝することができて良かった」と喜びを話しました。

身近な川の理解深める ヤマメの稚魚放流体験

10月9日、ヤマメの稚魚放流が葛巻小学校近くの馬淵川河川敷で行われ、葛巻小1、2年生18人が放流体験を行いました。この取り組みは上馬淵川漁業協同組合が毎年実施しており、この日はヤマメ約4,000匹を放流。児童たちは放流した稚魚が元気に泳ぐ姿を見ては歓声を上げていました。

遠藤華芽さん（1年）は「初めて稚魚の放流をやってみて楽しかった」と目を輝かせて感想を話しました。児童らは体験を通じて身近な川への理解を深めた様子でした。



稚魚が大きく育つよう優しく放流する児童たち

令和6年度町野菜共進会 農産物の質の高さを競う

町産業振興協議会主催の町野菜共進会は10月11日、モウモウ館で審査が行われ、農産物4品目で計40点が出品されました。

審査員は八幡平農業改良普及センターの三田村春香さんが務め、質の高さなどを厳正に審査。三田村審査員は「大雨や猛暑といった天候が多かった中で、質の高い出品が多かった」と評価しました。審査の結果、ほうれん草は波紫恵美子さん（車門）、キャベツは鹿糖一正さん（橋場）、白菜は小屋畑真理子さん（四日市）、大根は小屋畑雄太さん（四日市）が金賞を受賞しました。



審査基準に則り厳正に審査する三田村審査員



日章旗の返還と花を手向ける参加者（円内）

町戦没者追悼式 世界平和へ祈り

令和6年度町戦没者追悼式は9月27日、まき×まきホールで行われ、戦没者の遺族など約80人が参列しました。

本年度は戦没者遺留品返還式が行われ、鈴木重男町長から故向敷世知男さん（名前端）の遺族に日章旗が返還されました。鈴木町長は「戦争の恐ろしさを直接体験した世代が年々減少する中、先人の教えを次代に継いで幸せを実感できる町を推進していきたい」と式辞を述べ、戦没者を悼みました。その後参列者は世界の恒久平和を祈り、献花台に菊の花を手向けました。

子育てクッキング講座 親子の楽しい時間に

9月27日、くずま〜るで子育て支援センター主催のクッキング講座が開催され、山本真由美栄養士の指導のもと、じゃがいもとかぼちゃを使った芋もち作りが行われました。参加者は家族や先生と会話を弾ませながら、白色と黄色の生地を丸や三角、ハートなど思い思いの形にして、料理の楽しさを感じている様子でした。

調理後は、参加者全員で実食。芋もちが苦手だったという橋場環ちゃん（葛巻保年長）は「自分が一生懸命作った芋ちは食べられる」とおもしろそうに頬張っていました。



芋もちの焼き上がりを栄養士と一緒に確認する子ども

健康の増進に向けて 仲間と運動を楽しむ

10月3日、本年度19回目のいきいきスポーツ大学が社会体育館で行われ、18人の参加者がさまざまな競技で体を動かしました。

この日は健康寿命を延ばすための脚の筋肉と脳を鍛える簡単なトレーニングやスマイルゲートボウリング、シャッフルゴルフが行われ、参加者たちは声をかけ合い、時折笑顔を見せてプレーするなど盛り上がりを見せていました。吉澤吉子さん（浦子内）は「この行事では毎回体を動かしながら楽しませてもらっている」と爽やかな笑顔で感想を述べました。



スマイルゲートボウリングで楽しく体を動かす参加者たち